上級：建築

【材料学】

ガラスに関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

ア．フロート板ガラスは，溶解したガラスを溶融金属の上に流し，ガラスの自重と表面張力によって平行面を保つように製造されたものである。

イ．型板ガラスは，板ガラスの片面に型模様のあるもので，視線も光線も遮るという特徴を持つ。型模様のある面を室外側にして使用する。

ウ．合わせ板ガラスは，２枚の板ガラスを一定間隔に保ち，周囲に枠をはめ，内部に乾燥空気を入れて気密状態にしたもので，断熱性能に優れ，結露の防止に役立つ。

エ．強化ガラスは，普通の板ガラスの３～５倍の強度があり，割れた場合にはガラス全体が小豆粒大の粒状になり，その破片は鋭利なものではないので安全である。

1．ア，イ
2．ア，ウ
3．ア，エ
4．イ，ウ
5．イ，エ

【正答番号　３】

【建築計画】

事務所における机の配置形式のうち，対向式，並行式，ランドスケープ式について，その１人当たりの所要面積の一般的な大小関係として妥当なのはどれか。

1．対向式＞並行式＞ランドスケープ式
2．並行式＞対向式＞ランドスケープ式
3．並行式＞ランドスケープ式＞対向式
4．ランドスケープ式＞対向式＞並行式
5．ランドスケープ式＞並行式＞対向式

【正答番号　５】

【建築施工】

型枠工事に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1．型枠の剛性を確保するために，型枠と足場を緊結した。
2．床スラブの型枠を支える支柱は，上下階で平面上の同一位置になるようにした。
3．支柱として用いるパイプサポートは，４本継ぎとした。
4．支柱として用いるパイプサポートの高さが3.6ｍであったので，水平つなぎの高さを2.5ｍの位置とし，２方向に設けた。
5．梁下の支保工は，コンクリートの圧縮強度が設計基準強度の80％に達したことを確認した後に取り外した。

【正答番号　２】